

幾何学演習 (2011年5月16日)

担当: 境 圭一

$\alpha: \mathbb{R} \rightarrow \mathbb{R}^3$ は C^r 級曲線 ($r \geq 3$) で $|\alpha'| \equiv 1$ とし, $\{\kappa, \tau, \mathbf{T}, \mathbf{N}, \mathbf{B}\}$ を α の Frenet-Serret 装置とする.

1. (前回の2.のために必要な問題です)

(1) $|\mathbf{u}| = |\mathbf{v}| = 1, \langle \mathbf{u}, \mathbf{v} \rangle = 0$ とする. このとき

$$\{\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{w}\} \text{ が } \mathbb{R}^3 \text{ の右手系の正規直交基底} \Leftrightarrow \mathbf{w} = \mathbf{u} \times \mathbf{v}$$

である. このことから, $\mathbf{w} = \mathbf{u} \times \mathbf{v}$ のとき, $\mathbf{u} = \mathbf{v} \times \mathbf{w}, \mathbf{v} = \mathbf{w} \times \mathbf{u}$ を示せ.

(2) $\mathbf{T} = \mathbf{N} \times \mathbf{B}, \mathbf{N} = \mathbf{B} \times \mathbf{T}$ を示せ.

2. $\kappa \equiv c\tau$ となる定数 c が存在するとき, α は一般らせんであることを, 以下の手順で示せ.

(1) $k = cl, k^2 + l^2 = 1$ となる定数 k, l が存在することを示せ.

(2) (1) の k, l に対し $\mathbf{u} = l\mathbf{T} + k\mathbf{B}$ とおく. Frenet-Serret の定理を使って $\mathbf{u}' = 0$ を示せ.

(3) $|\mathbf{u}| = 1, \langle \mathbf{T}, \mathbf{u} \rangle = l$ (定数) を示せ.

3. $\kappa \equiv 1, \tau \equiv 0$ であるような曲線 α (ただし $|\alpha'| \equiv 1$) を, 以下の手順で求めよ.

(1) そのような α が存在すれば, $\mathbf{T}'' = -\mathbf{T}$ をみたすことを示せ.

(2) 任意の定数ベクトル \mathbf{u}, \mathbf{v} に対し, $\mathbf{T} = (\cos t)\mathbf{u} + (\sin t)\mathbf{v}$ は (1) の微分方程式の解であることを確かめよ.

(3) (2) の \mathbf{u}, \mathbf{v} を使って α を表せ.

(4) $\alpha(0) = \mathbf{0}, \mathbf{T}(0) = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}, \mathbf{N}(0) = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}, \mathbf{B}(0) = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$ とするとき, α を求めよ.

(5) (4) で求めた α に対し, 実際に $\kappa_\alpha \equiv 1, \tau_\alpha \equiv 0$ であることを確かめよ.

(ヒント)

1. (1) $\{\mathbf{u}, \mathbf{v}, \mathbf{w}\}$ が右手系なら, $\{\mathbf{v}, \mathbf{w}, \mathbf{u}\}, \{\mathbf{w}, \mathbf{u}, \mathbf{v}\}$ もそう.

2. (1) k, l は具体的に求められるが, 具体的な値は (2) では必要ない.

3. (1) Frenet-Serret の定理 (1), (2) を使う. (3) $\mathbf{T} = \alpha'$ より $\int_0^t \mathbf{T}(s) ds = \alpha(t) - \alpha(0)$.